



市民の期待を裏切る 佐々木市政

厳しい財政だが、
市長 市民の満足度を高める努力をする

活線クラブ
八木 眞 議員

佐々木市長就任、あわせて4町合併以来、大変厳しい3年であったと思う。この合併に批判的な意見が大変多く、疑問を持つ市民が多数ある。単なる生みの苦しさを済まされない。地域の発展を願った合併であったが、なぜか希望がわいてこない。それは施策や計画、組織のあり方などが、根本的に市民に馴染んでいなかったからではないか。市民の期待を裏切っているからに他ならない。たとえば中部広域圏は緑を大切にしようと言いつつ、本庁前の桜を切ってしまうといった一貫性の無い理念の無い施策が行われているからに他ならない。昨年の各部一律6%減じる枠配分方式から一変し、21年度予算については総合振興実施計画に基づいて予算配分がなされた。市長の理念の一貫性はどこにあるのか。実施計画の

優先順位をどう言う理念に基づいて決定されるのか。どこに生かされているのか尋ねる。他市に比べ異常に多い審議会に市長の考えは徹底しているのか問う。今、過度のグローバルイズムにより世界、日本、地域経済は過去類例を見ない深刻な状態である。非常事態である。管内中小零細企業、市民生活の現状を数的に把握して適宜適切な施策を実施しているか。国から緊急財政対策としての臨時交付金5億3000万円を地域活性化としてどう有効活用するのか問う。市長が言う行政経営とは新たな手法か問う。地元優先となる総合入札方式をどう考えるか。農、商、工連携による地域活性化は考えているか。



改修が待たれる JR 八木駅

やすくなったと考える。厳しい財政のなか地域経済の活性化を目指す。行政において今後経営的観点から市政運営を

行い市民というお客様の満足度を高める努力をする。



本年度予算での 子育て支援策は

国の施策とも
市長 関連しながら対応

南風会
小中 昭 議員

子育て支援策は、本市の重要課題であることから、我々南風会は、保育料の一層の減額措置の実施・一時預かり保育や延長保育の実施・通学費保護者負担の減額・入学時の制

服購入援助や、少子化対策として新婚世帯への家賃補助・通勤補助等々、事例をあげて提示してきたが、21年度予算に少子化対策としての子育て支援策がどのような形で組み入れられたか伺う。
市長 21年度の行政経営方針の一つとして子育てを支援する体制の強化を掲げている。地域の中で子育てを支援していただくファミリーサポート事業の拡充、すこやか子育てセンター事業は支所単位でそれぞれ地域すこやか子育てセンターの常設化を進める。子育て支援は、重要施策と、とらまえている。今後、国の施策とも関連しながら、努力していく。

臨時交付金はインフラ整備に
道路整備などのインフラ整備の要望は依然として多くある。5億2千万余りの地域

活性化・生活対策臨時交付金は、これらのインフラ整備に充当すべきと考えるが所見を伺う。
市長 道路・橋梁整備や河川整備、農林業の基盤整備、福祉環境の整備、教育環境、また、公共設備の整備等に活用する。1億3550万円は積立金とするが、これらは6月補正で事業化する。
早急な雪害対策を
1月の大雪は、美山地域では重い雪が短時間に降ったため、倒木により停電や道路の通行止めにより市民生活に大きな被害をもたらした。さらに、山林の倒木による被害は目を覆うばかりの甚大な被害である。森林被害に早急な対策をすべきと考えるが。
市長 間伐事業として復旧対応をしていく。また、被害を受けた獣害



旧川辺保育所を活用した発達支援センター

防止柵の復旧にも対応する。
一般質問への対応は
3年間で、延べ170名を超える議員が500項目を超える一般質問をしている。「検討する」等の市長答

様に検討され、どう結論が見出され、どう執行されたか伺う。
市長 「検討をする」「検討していく」等の答弁が250件あった。一定の方針を出したもの、対応を済ませたものが229件である。未対応のものは課題解決に向け早急に努力していく。